



# 2022年3月期第3四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

Creating Value for a Sustainable Future

2022年1月  
大阪ガス株式会社



# 目次

## I. 22.3期第3四半期決算と22.3期見通しの概要

- 22.3期第3四半期決算のポイント - 4
- 22.3期第3四半期決算の対前年比較 - 5
- 22.3期見通しのポイント - 6
- 22.3期見通しの対前回見直し比較 - 7
- 22.3期見通しの対前年比較 - 8
- 22.3期第3四半期の成長投資実績 - 9

## II. 22.3期第3四半期決算

- 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - 11～15
- 22.3期第3四半期セグメント別実績 - 16～18

## III. 22.3期見直し

- 22.3期見通しの対前回見直し比較 - 20
- 22.3期見通しの対前年比較 - 21～25
- 22.3期セグメント別見直し - 26～28
- 年度見直しに対するリスク要因 - 29
- (参考)22.3期第3四半期の主なトピックス - 30

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています。下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。  
<https://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見直し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見直し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見直しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記：名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

# I . 22.3期第3四半期決算と22.3期見通しの概要



## 22.3期第3四半期決算のポイント

- ✓ 売上高は国内エネルギー事業のLNG価格の上昇、海外エネルギー事業のサビン・シェールガスプロジェクト、フリーポートLNGプロジェクトの増収等で、前年から808億円増収の1兆437億円
- ✓ 経常利益は国内エネルギー事業におけるタイムラグ影響等により、前年から242億円減益の572億円

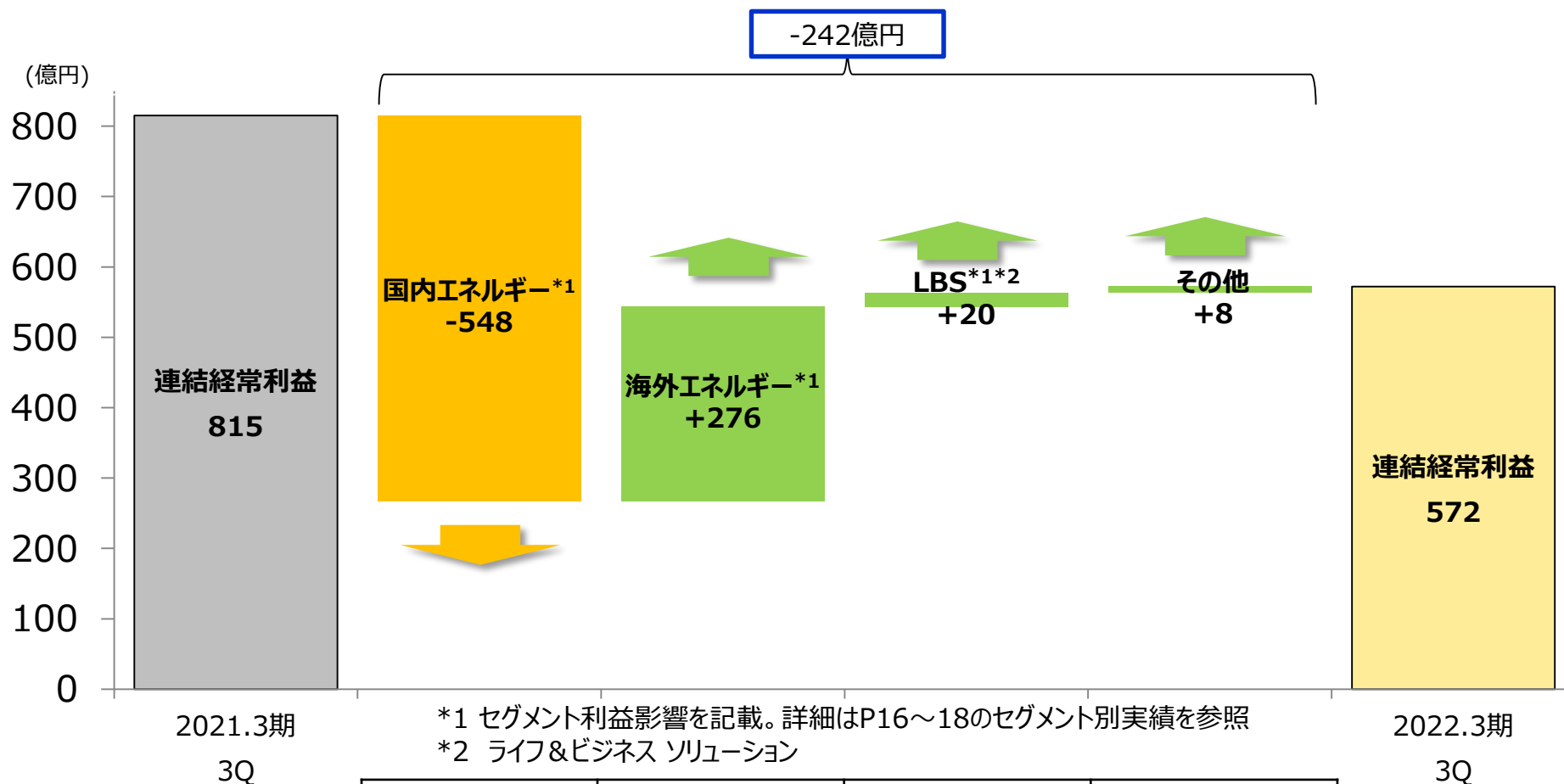
億円	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	10,437	9,628	+808	+8.4%	LNG価格の上昇、サビン、フリーポートの増収等
経常利益	572	815	-242	-29.8%	
タイムラグ差損益(ガス・電力)*1	-468	200	-668	-	前年差(-668)の内訳 ガス-472、電力-196
タイムラグ差損益控除後 経常利益	1,041	615	+426	+69.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	448	576	-127	-22.2%	

\*1 国内エネルギーの内数

		A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	74.0	38.4	+35.6	22.3期実績は12月速報値までの平均
為替	円/\$	111.1	106.1	+5.0	

## 22.3期第3四半期決算の対前年比較(経常利益)

- ✓ フリーポートLNGプロジェクトやサビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献による海外エネルギー事業の増益がある一方、国内エネルギー事業のタイムラグ影響による減益等により、前年から242億円減益の572億円



	2021.3期3Q	2022.3期3Q	前年同期差
原油価格 (\$/bbl)	38.4	74.0	+35.6
為替(円/\$)	106.1	111.1	+5.0

## 22.3期見通しのポイント（業績予想修正について）

- ✓ 原油価格上昇など業績予想の前提となる事業環境の変化が拡大したため、業績予想の修正を行う
- ✓ 売上高は、原油価格上昇に伴うガス事業における販売単価上昇等を見込み、前回（2021年7月29日）見通しから370億円増収の1兆5,470億円
- ✓ 経常利益は、国内エネルギー事業のタイムラグ影響、器具販売の減益等はあるが、原油価格等の上昇等による海外エネルギー事業の増益もあり、前回見通しを据え置き、950億円

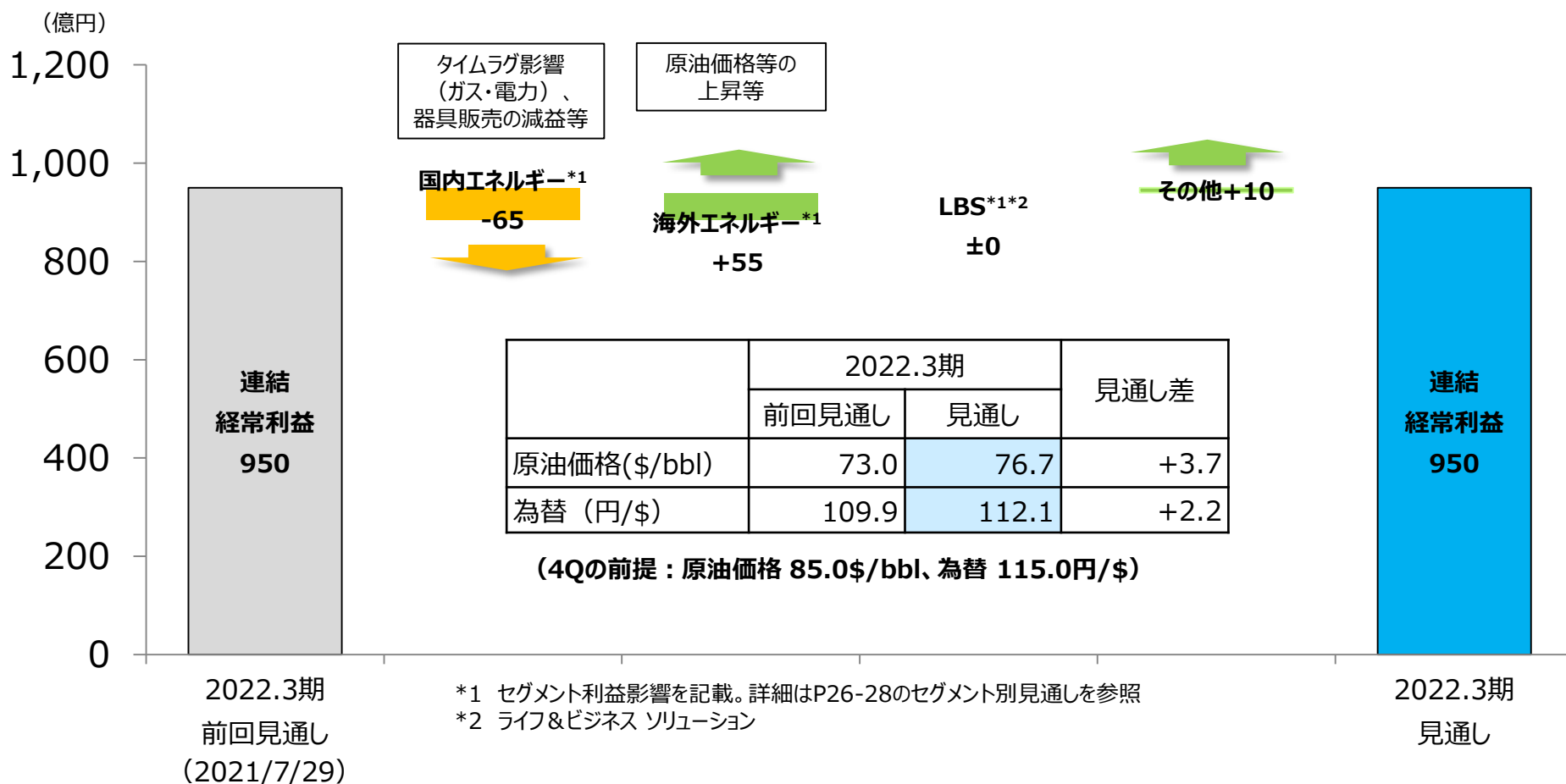
億円	A. 22.3期 見通し	B. 22.3期 前回見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	15,470	15,100	+370	+2.5%	原油価格上昇に伴う販売単価の上昇等
営業利益	805	805	±0	±0.0%	
経常利益	950	950	±0	±0.0%	
セグメント利益*1*2	945	945	±0	±0.0%	
国内エネルギー	300	365	-65	-17.8%	タイムラグ影響、器具販売の減益等
うち電力*3	120	130	-10	-7.7%	タイムラグ影響等
海外エネルギー	455	400	+55	+13.8%	サビン、豪州上流事業の増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	190	190	±0	±0.0%	
調整	0	-10	+10	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	705	+70	+9.9%	関係会社投資有価証券売却益等

\*1,2,3 セグメント利益に関する注記はP15を参照

		A. 22.3期 見通し	B. 22.3期 前回見通し	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	76.7	73.0	+3.7	4Qの前提：原油価格 85.0\$/bbl
為替	円/\$	112.1	109.9	+2.2	4Qの前提：為替 115.0円/\$

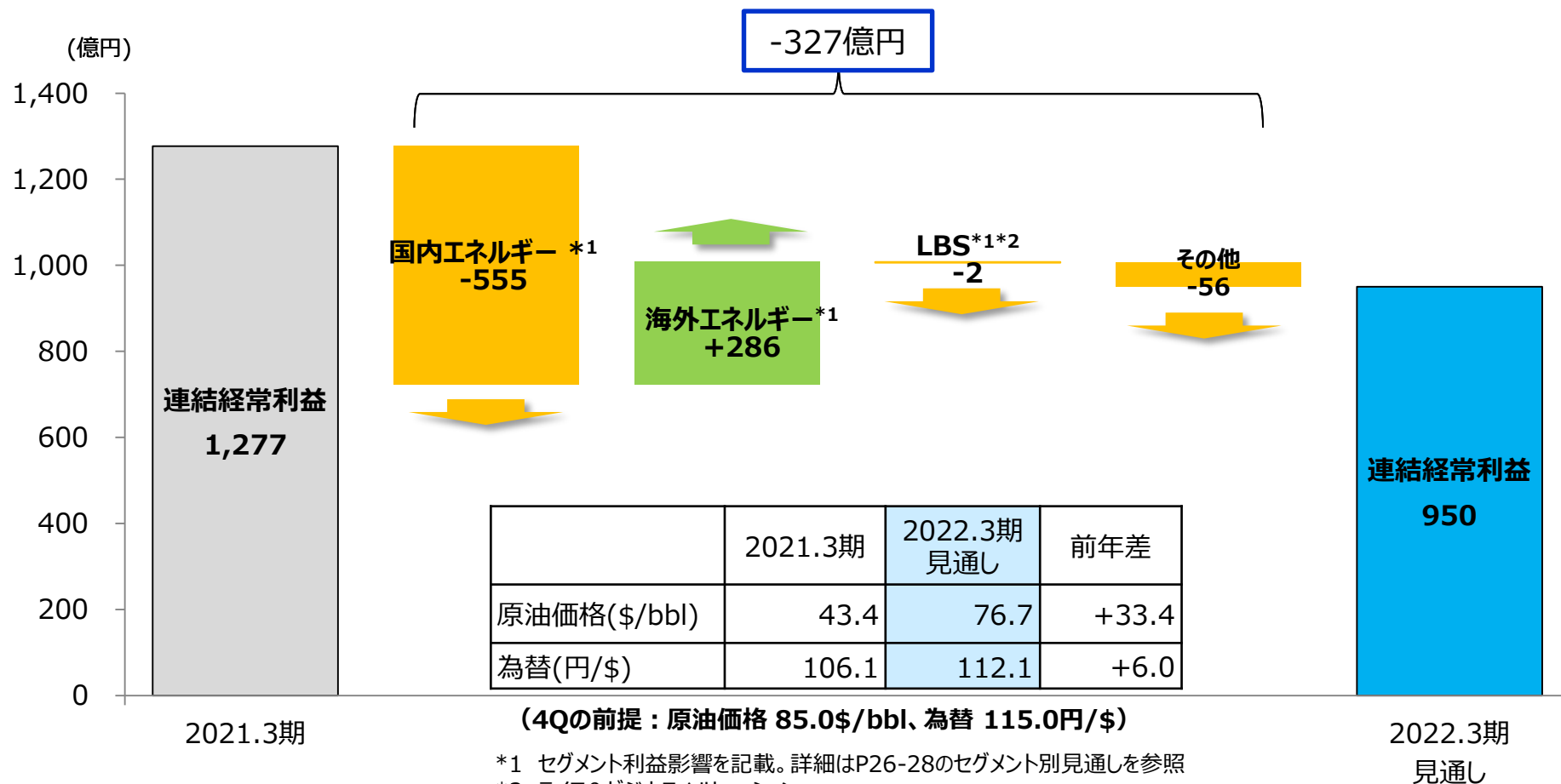
## 22.3期見通しの対前回見通し比較（経常利益）

- 原油価格・為替等の前提を変更し、国内エネルギー事業におけるタイムラグ影響の拡大等を見込むが海外エネルギー事業等の増益影響を織り込み、2022年3月期連結経常利益は、前回見通しのまま据え置く



## 22.3期見通しの対前年比較(経常利益)

- ✓ 各セグメント利益を修正しているが、連結経常利益は前回見通しを据え置く
- ✓ 海外エネルギー事業は増益となるものの国内エネルギー事業のタイムラグによる減益影響が大きく、前年から327億円減益の950億円

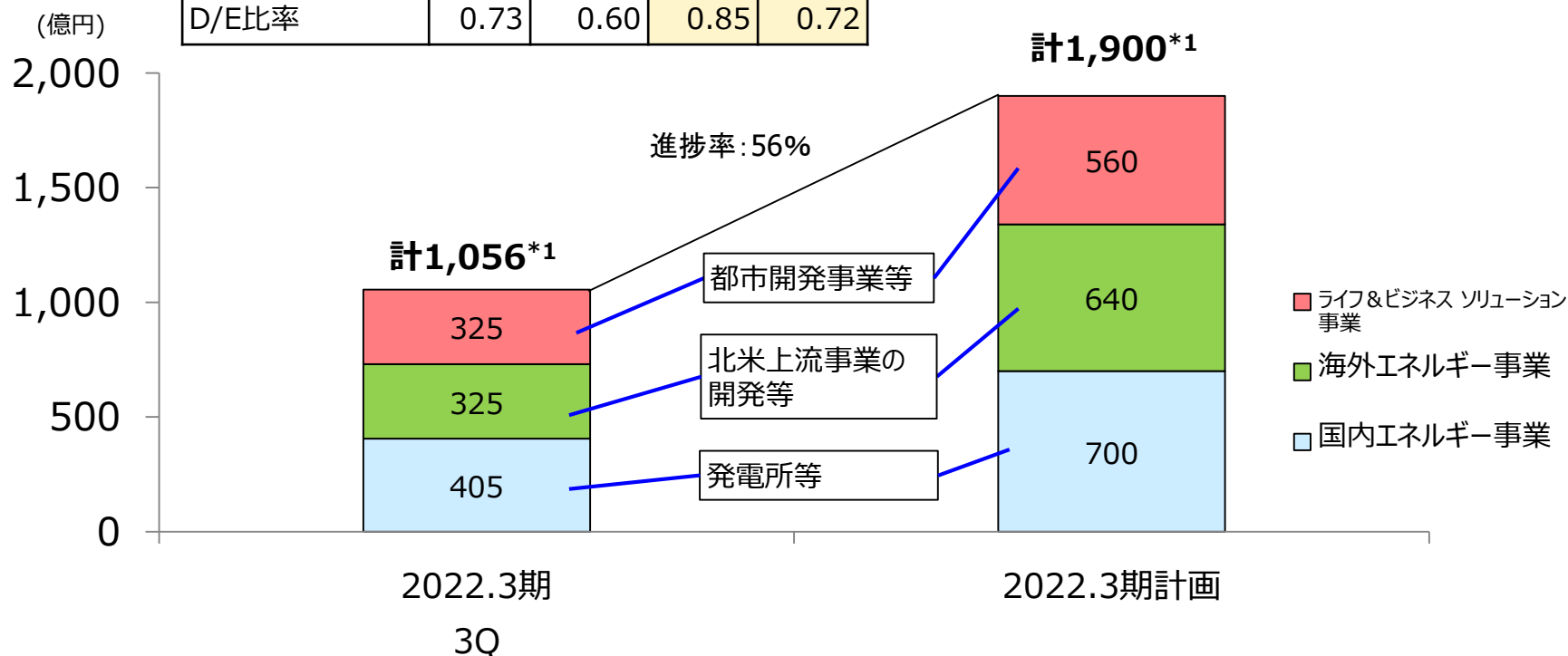




## 22.3期第3四半期の成長投資実績

- 2022年3月期第3四半期は、国内エネルギー事業における発電所、海外エネルギー事業における北米上流事業の開発等に1,056億円の成長投資を実行
- 財務健全性は、発行済ハイブリッド社債の資本性を考慮し、自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度を維持

	2021.3期末		2022.3期 3Q 末	
		調整後*2		調整後*2
自己資本比率(%)	46.8	50.5	43.4	46.8
D/E比率	0.73	0.60	0.85	0.72



\*1 投資実行額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります

\*2 発行済ハイブリッド社債1,750億円の資本性50%を調整(19年12月:1,000億円、20年9月:750億円)

## II. 22.3期第3四半期決算



## 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	10,437	9,628	+808	+8.4%	
営業利益	426	748	-321	-43.0%	
経常利益	572	815	-242	-29.8%	
タイムラグ差損益(ガス・電力) <sup>*1</sup>	-468	200	-668	-	
タイムラグ差損益控除後 経常利益	1,041	615	+426	+69.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	448	576	-127	-22.2%	
一株あたり当期純利益(円)	107.8	138.6	-30.8	-22.2%	
EBITDA <sup>*2</sup>	1,357	1,586	-229	-14.5%	

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

		A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	74.0	38.4	+35.6	22.3期実績は12月速報値までの平均
為替	円/\$	111.1	106.1	+5.0	

## 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 22.3期 3Q末実績	B. 21.3期 期末実績	21.3期 3Q末実績	A-B	備考
総資産	25,647	23,133	22,059	+2,514	成長投資の進捗等
自己資本	11,136	10,818	10,130	+317	
一株当たり純資産(円)	2,678.4	2,602.2	2,436.6	+76.2	
有利子負債	9,499	7,853	7,999	+1,645	社債発行等
ハイブリッド社債	1,750	1,750	1,750	±0	

	A. 22.3期 3Q末実績	21.3期 期末実績	B. 21.3期 3Q末実績	A-B	備考
ROIC	2.8%	6.2%	-	-	
ROE	4.1%	7.8%	5.7%	-1.6%	

	A. 22.3期 3Q末実績	B. 21.3期 期末実績	21.3期 3Q末実績	A-B	備考
自己資本比率	43.4%	46.8%	45.9%	-3.3%	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*1</sup>	46.8%	50.5%	49.9%	-3.7%	
D/E比率	0.85	0.73	0.79	+0.13	
ハイブリッド社債考慮後 <sup>*1</sup>	0.72	0.60	0.65	+0.12	

\*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

## 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	備考
品質向上投資	425	426	-1	
成長投資	1,056	1,052	+4	
国内エネルギー	405	541	-135	発電所等
海外エネルギー	325	258	+66	北米上流事業の開発等
ライフ&ビジネス ソリューション	325	252	+73	都市開発事業等
設備投資	1,349	1,288	+60	
減価償却費	793	740	+52	

億円	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	備考
フリーキャッシュフロー <sup>*1</sup>	-1,278	-192	-1,085	

\*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 22.3期 3Q末実績	B. 21.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	9,703	9,401	+302	+3.2%	

	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
連結ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	4,867	4,928	-60	-1.2%	
(個別)ガス販売量	4,841	4,900	-59	-1.2%	
家庭用	1,046	1,090	-44	-4.1%	調定件数の減少等
一戸あたりガス販売量 (m <sup>3</sup> /月)	24.4	24.6	-0.2	-0.8%	
業務用等	3,795	3,810	-15	-0.4%	
国内電力販売量(百万kWh)*1	11,983	11,435	+547	+4.8%	
小売	4,294	3,914	+381	+9.7%	
卸等	7,689	7,522	+167	+2.2%	
(個別)ガス供給件数(千件)	4,928	5,069	-141	-2.8%	
低圧電気供給件数(千件)	1,592	1,476	+116	+7.9%	

\*1 22年3月期より電力販売量は、電力販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上することから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載。前年の電力販売量は、毎月の検針による使用量の計量に基づいたものを記載。

	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	備考
平均気温(℃)	20.4	20.4	-0.1	

## 22.3期第3四半期実績の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 22.3期 3Q実績	B. 21.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高*1	10,437	9,628	+808	+8.4%	
国内エネルギー	8,686	8,145	+541	+6.7%	LNG価格の上昇等
海外エネルギー	559	323	+236	+73.2%	サビン、フリーポート、豪州上流事業の増収等
ライフ&ビジネス ソリューション	1,633	1,543	+89	+5.8%	
調整	-442	-382	-59	-	

セグメント利益*1*2	564	845	-281	-33.3%	
国内エネルギー	30	579	-548	-94.7%	タイムラグ影響等
内、電力*3	68	116	-48	-41.6%	
海外エネルギー	373	96	+276	+286.4%	フリーポート、サビン、豪州上流事業の増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	148	127	+20	+16.4%	コロナ影響の緩和等
調整	12	42	-30	-	

タイムラグ差損益(ガス・電力)*4	-468	+200	-668	-	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響*5	31	-65	+97	-	

\*1 22.3期より、国内エネルギー・ガスと国内エネルギー・電力を国内エネルギーへ統合し、大阪ガスインターナショナルトランスポート(株)等を海外エネルギーから国内エネルギーに移管。併せて、大阪ガス(株)(国内エネルギー・ガス)に含まれる海外エネルギーのための営業費用を海外エネルギーに移管。

21.3期実績は新セグメントベースでの試算値

\*2 セグメント利益 = 営業損益 + 持分法投資損益

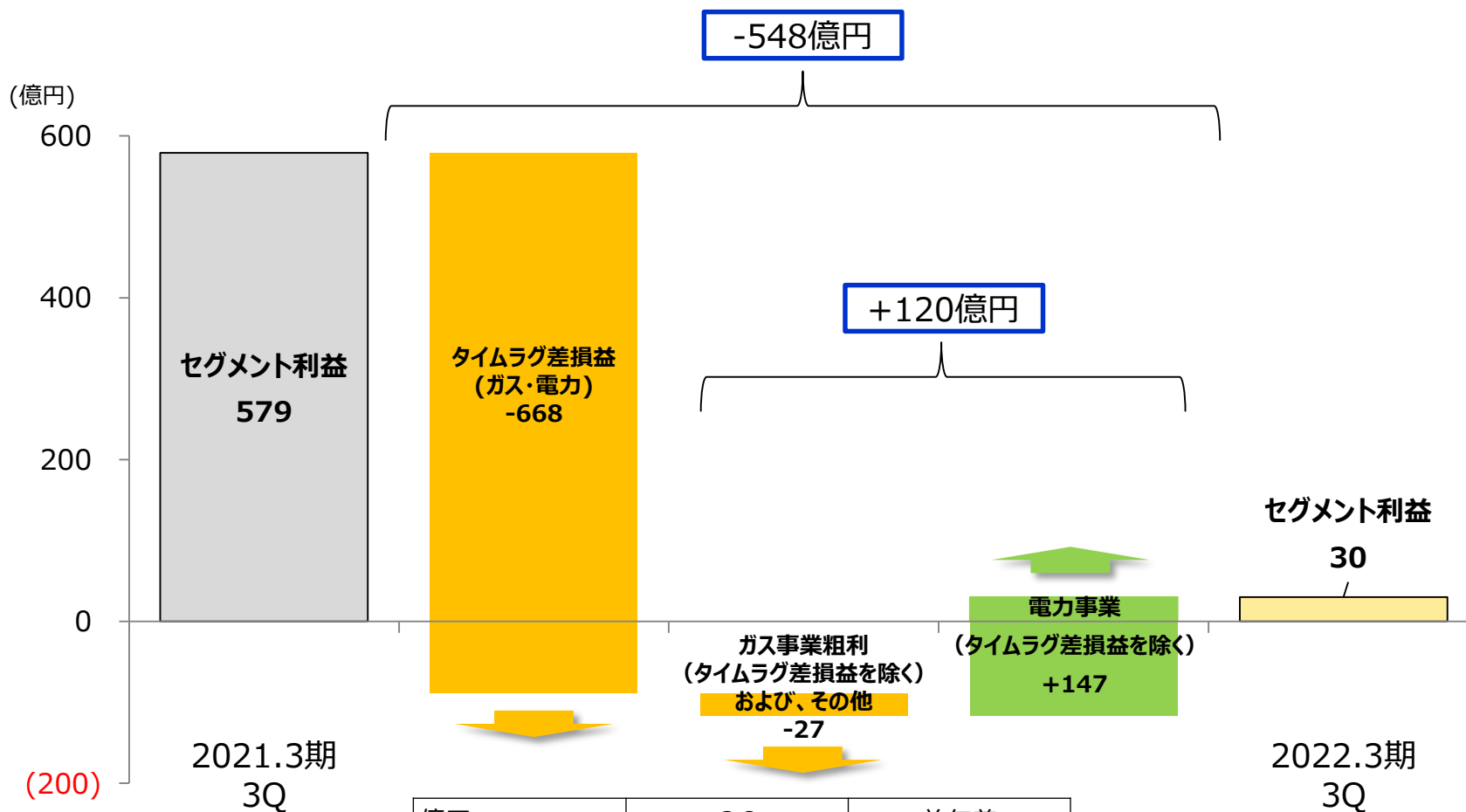
\*3 「電力」は、大阪ガス個別附帯電力利益と一部の関係会社の利益を単純合算したものであり、従来の「国内エネルギー・電力」とは異なる。

\*4 国内エネルギーの内数

\*5 海外エネルギーの内数

## 22.3期第3四半期セグメント別実績 - 国内エネルギー(ガス+電力)

- 国内エネルギー事業のセグメント利益は、タイムラグ影響等により、前年から548億円減益の30億円

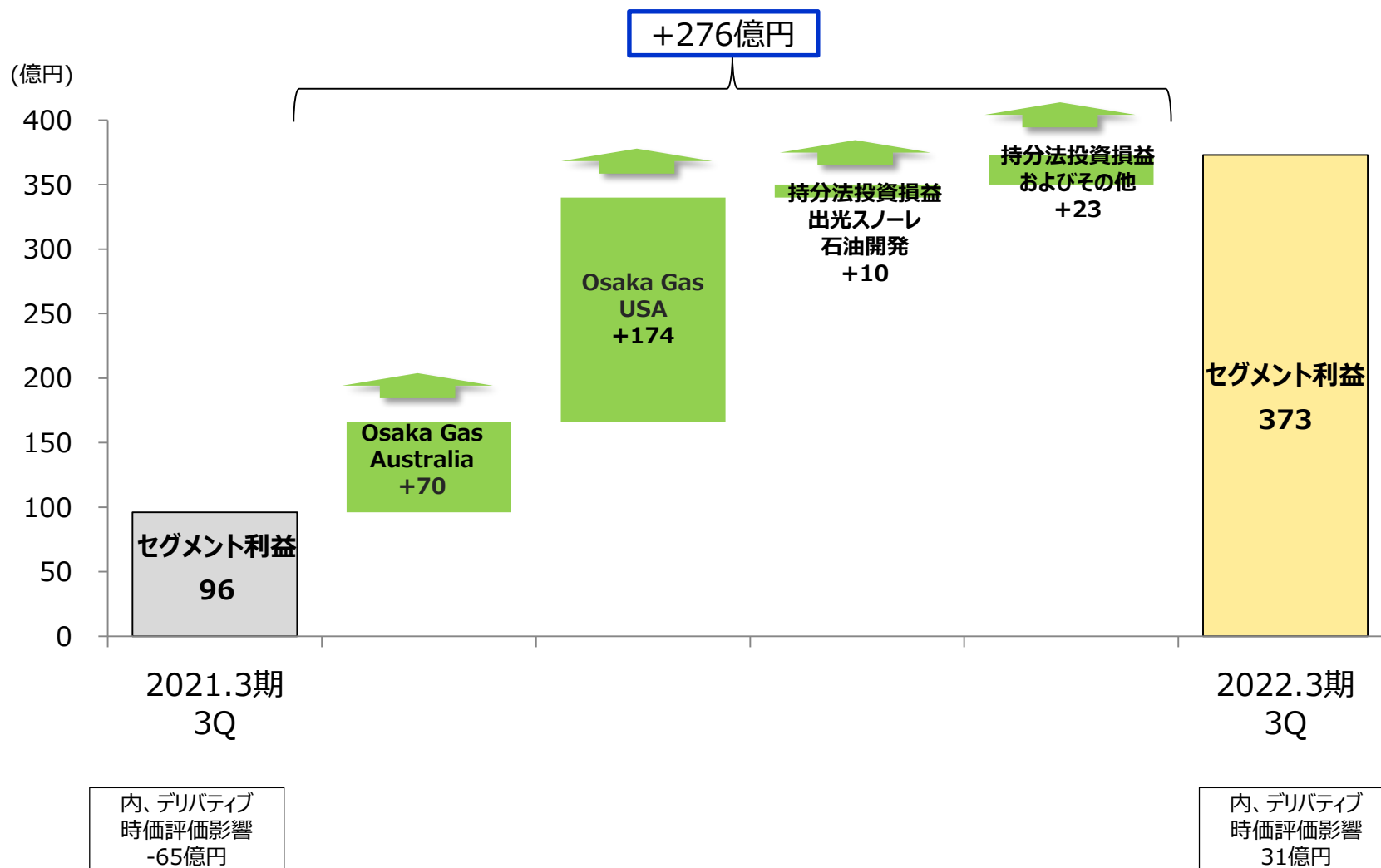


億円	3Q	前年差
タイムラグ	-468	-668
ガス	-321	-472
電力	-147	-196



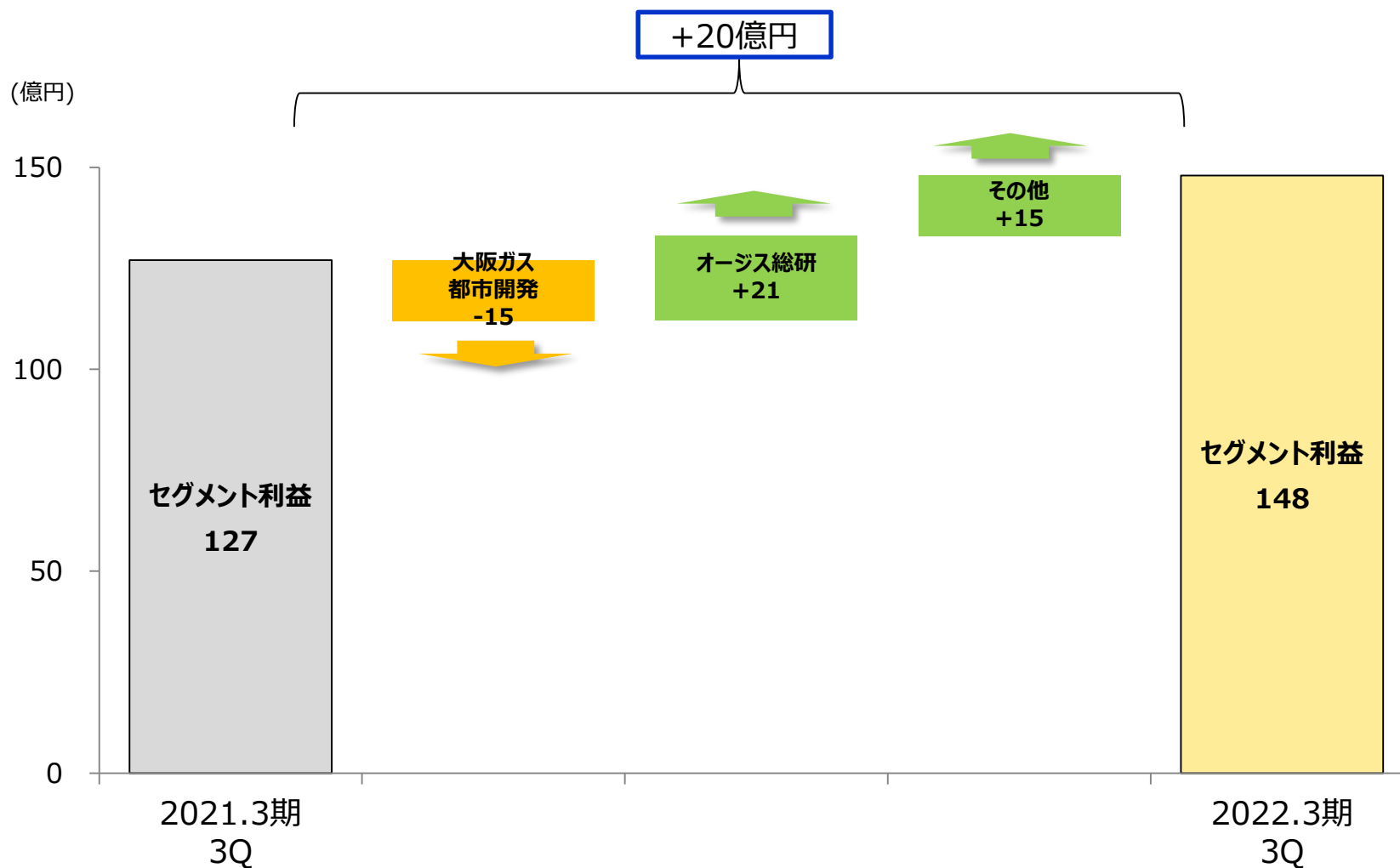
## 22.3期第3四半期セグメント別実績 - 海外エネルギー

- ✓ 海外エネルギー事業のセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクトの利益貢献、また原油価格等の上昇によるサビン・シェールガスプロジェクト、豪州上流事業の増益等により、前年から276億円増益の373億円



## 22.3期第3四半期セグメント別実績 - ライフ&ビジネス ソリューション

- ✓ ライフ&ビジネス ソリューション事業のセグメント利益は、情報ソリューション事業でのコロナ影響の緩和等により20億円増益の148億円



## Ⅲ. 22.3期見通し



## 22.3期見通しの対前回見通し比較 - セグメント別

- ✓ 国内エネルギー、海外エネルギーセグメントで前回見通しから修正あり
- ✓ ライフ&ビジネスソリューションは、前回見通しを据え置く

億円	A. 22.3期 見通し	B. 22.3期 前回見通し	A-B	(A-B)/B	備考
<b>売上高*1</b>	15,470	15,100	+370	+2.5%	
国内エネルギー	12,965	12,650	+315	+2.5%	原油価格上昇に伴う販売単価の上昇等
海外エネルギー	755	700	+55	+7.9%	サビン、豪州上流事業の増収等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,300	2,300	±0	±0.0%	
調整	-550	-550	±0	±0.0%	
<b>セグメント利益*1*2</b>	945	945	±0	±0.0%	
国内エネルギー	300	365	-65	-17.8%	タイムラグ影響、器具販売の減益等
内、電力*3	120	130	-10	-7.7%	タイムラグ影響等
海外エネルギー	455	400	+55	+13.8%	サビン、豪州上流事業の増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	190	190	±0	±0.0%	
調整	0	-10	+10	-	
<b>タイムラグ差損益*4</b>	-462	-299	-163	-	
(個別)ガス事業	-310	-238	-72	-	
電力事業	-152	-61	-91	-	

\*1,2,3 セグメント売上高、利益に関する注記はP15を参照

\*4 国内エネルギーの内数

## 22.3期見通しの対前年比較 - ①売上高・利益等

✓ 前回見通しより修正あり

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	15,470	13,641	+1,828	+13.4%	原油価格上昇に伴う販売単価の上昇等
営業利益	805	1,124	-319	-28.4%	
経常利益	950	1,277	-327	-25.6%	国内エネルギー事業におけるタイムラグ影響の減益等
タイムラグ差損益(ガス・電力)*1	-462	16	-478	-	
タイムラグ差損益控除後 経常利益	1,412	1,260	+151	+12.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	808	-33	-4.2%	
一株あたり当期純利益(円)	186.4	194.5	-8.1	-4.2%	
EBITDA*2	2,000	2,275	-275	-12.1%	
NOPAT*3	835	1,115	-280	-25.1%	

\*1 国内エネルギーの内数

\*2 EBITDA = 営業利益 + 持分法投資損益 + 減価償却費(のれん償却費含む)

\*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

		A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	76.7	43.4	+33.4	4Qの前提：原油価格 85.0\$/bbl
為替	円/\$	112.1	106.1	+6.0	4Qの前提：為替 115.0円/\$

## 22.3期見通しの対前年比較 - ②資産等

- ✓ B/S項目は前回見通しを据え置く
- ✓ ROEは親会社に帰属する当期純利益の変動により修正あり

億円	A. 22.3期末 見通し	B. 21.3期末 実績	A-B	備考
総資産	24,444	23,133	+1,310	成長投資の進捗等
自己資本	11,166	10,818	+348	
一株当たり純資産(円)	2,685.7	2,602.2	+83.6	
有利子負債	8,828	7,853	+974	新規調達等
投下資本*1	19,879	18,568	+1,310	

\*1 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債 (当社にリスクのないリース負債を除く)

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
ROIC	4.4%	6.2%	-1.8%	
ROE	7.1%	7.8%	-0.7%	

	A. 22.3期末 見通し	B. 21.3期末 実績	A-B	備考
自己資本比率	45.7%	46.8%	-1.1%	
ハイブリッド社債考慮後*2	49.3%	50.5%	-1.3%	
D/E比率	0.79	0.73	+0.06	
ハイブリッド社債考慮後*2	0.66	0.60	+0.06	

\*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

## 22.3期見通しの対前年比較 - ③キャッシュ・フロー、投資等

✓ 前回見通しを据え置く

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,651	2,197	-546	
投資活動によるキャッシュ・フロー*1	-2,590	-1,983	-606	
フリーキャッシュフロー*2	-938	214	-1,152	

\*1 見通しは投資額を記載

\*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	690	688	+1	
成長投資	1,900	1,525	+374	
国内エネルギー	700	807	-107	
海外エネルギー	640	326	+313	
ライフ&ビジネス ソリューション	560	390	+169	
設備投資	1,960	1,894	+65	
減価償却費	1,055	1,014	+40	

## 22.3期見通しの対前年比較 - ④件数、販売量等

- ✓ お客さまアカウント数の見通しを修正
- ✓ その他は前回見通しを据え置く

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	9,800	9,401	+399	+4.2%	前回見通し9,680
連結ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	6,987	7,157	-169	-2.4%	
(個別)ガス販売量	6,956	7,121	-165	-2.3%	
家庭用	1,695	1,862	-167	-9.0%	気水温影響の反動等
業務用等	5,261	5,259	+2	+0.0%	
国内電力販売量(百万kWh) <sup>*1</sup>	18,024	16,133	+1,891	+11.7%	

\*1 22年3月期より電力販売量は、電力販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上することから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載。前年の電力販売量は、毎月の検針による使用量の計量に基づいたものを記載。

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
平均気温(°C)	17.2	17.6	-0.4	



## 22.3期見通しの対前年比較 - ⑤セグメント別

✓ 前回見通しより修正あり

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高*1	15,470	13,641	+1,828	+13.4%	
国内エネルギー	12,965	11,583	+1,381	+11.9%	原油価格上昇に伴う販売単価の上昇等
海外エネルギー	755	442	+312	+70.4%	サビン、フリーポート、豪州上流事業の増収等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,300	2,165	+134	+6.2%	材料事業の増収等
調整	-550	-551	+1	-	

セグメント利益*1*2	945	1,261	-316	-25.1%	
国内エネルギー	300	855	-555	-65.0%	タイムラグ影響等
内、電力*3	120	148	-28	-19.1%	
海外エネルギー	455	168	+286	+169.4%	フリーポート、サビン、豪州上流事業の増益等
ライフ&ビジネス ソリューション	190	192	-2	-1.3%	
調整	0	43	-43	-	

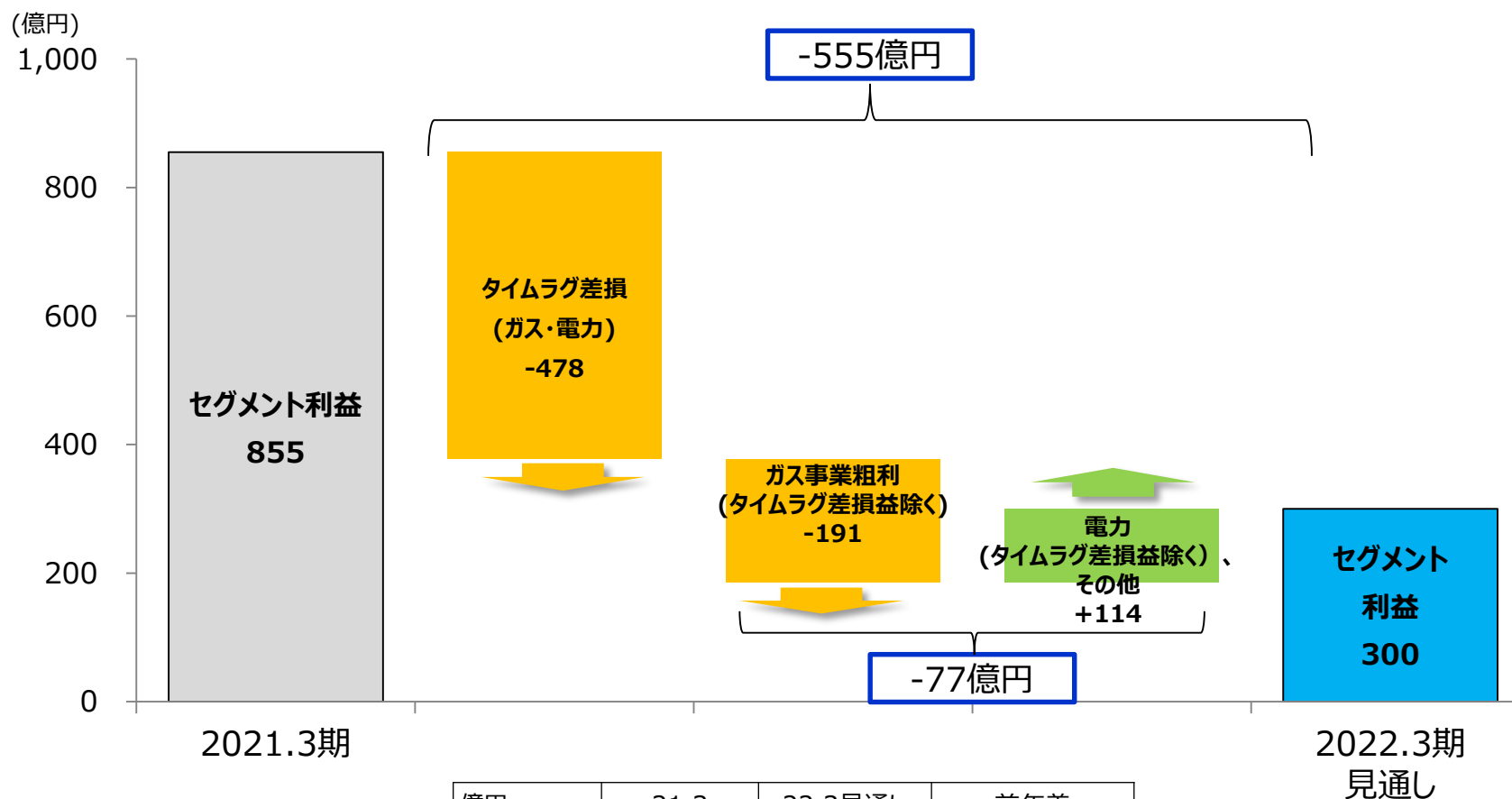
タイムラグ差損益*4	-462	16	-478	-	
(個別)ガス事業	-310	-16	-293	-	
電力事業	-152	33	-185	-	

\*1,2,3 セグメント売上高、利益に関する注記はP15 参照

\*4 国内エネルギーの内数

## 22.3期セグメント別見通し - 国内エネルギー

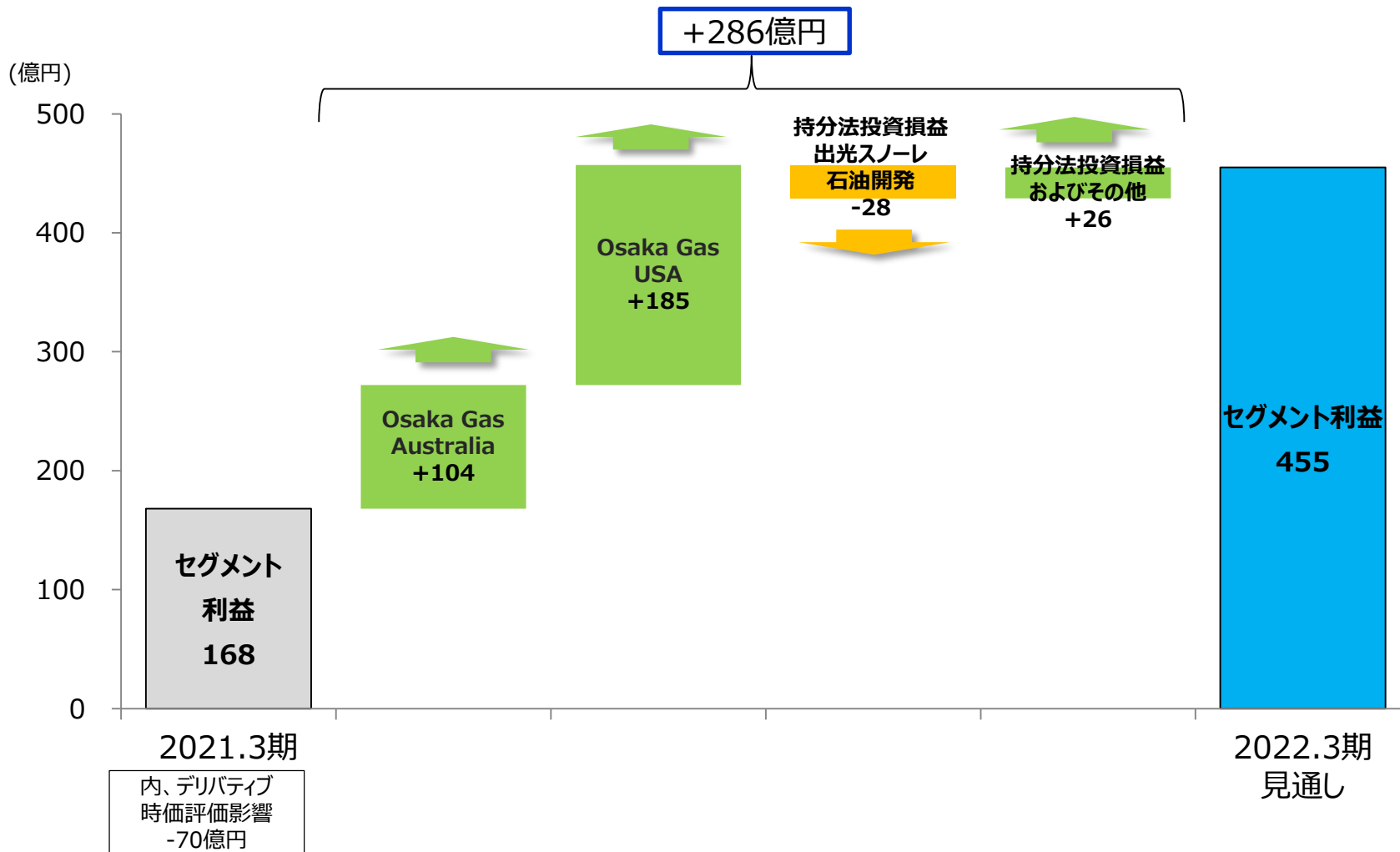
- 国内エネルギー事業のセグメント利益は、前回見通しより65億円下方修正
- タイムラグ影響や、前年度冬場の低気温影響の反動などにより前年から555億円減益の300億円



億円	21.3	22.3見通し	前年差
タイムラグ	16	-462	<b>-478</b>
ガス	-16	-310	-293
電力	33	-152	-185

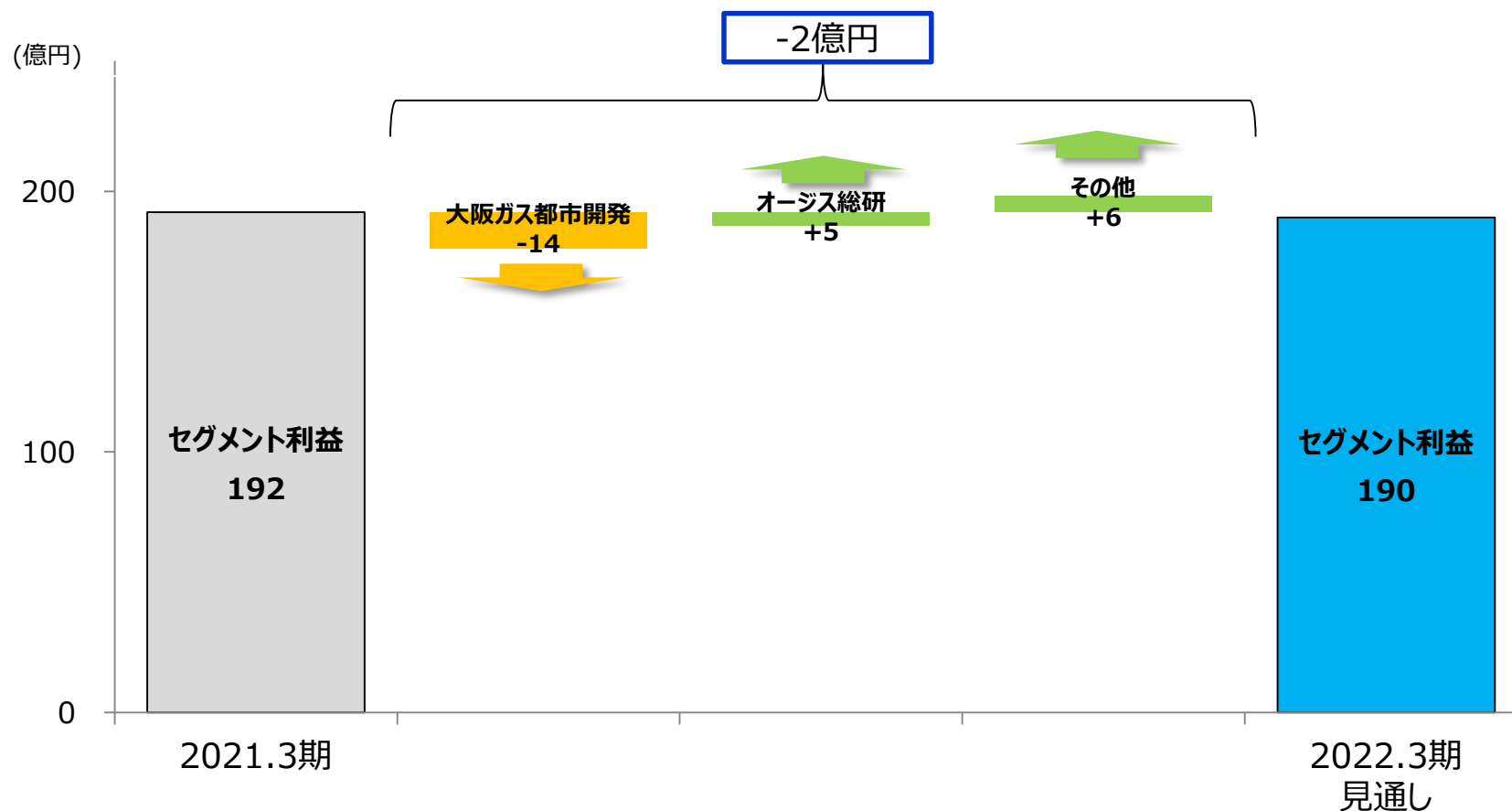
## 22.3期セグメント別見通し - 海外エネルギー

- ✓ 海外エネルギー事業のセグメント利益は、前回の見通しより55億円上方修正
- ✓ 原油価格等の上昇によるサビン・シェールガスプロジェクト、豪州上流事業の増益、またフリーポートLNGプロジェクトの利益貢献等により、前年から286億円増益の455億円



## 22.3期セグメント別見通し - ライフ&ビジネス ソリューション

- ✓ 前回見通しを据え置く
- ✓ ライフ&ビジネス ソリューション事業のセグメント利益は概ね前年並み



## 年度見通しに対するリスク要因(22年1月~22年3月)

- 気温・水温
  - 気・水温1度の変化に対し、家庭用ガス販売量は、春秋期約7%・夏期約8%・冬期約6%変動する可能性がある。
- 原油価格
  - LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、1月以降、原油価格+1\$/bblの変化に対し、22.3期の連結経常利益は約**-0億円**変動する可能性がある。
- 為替レート
  - LNG価格が米\$・円の為替レートにリンクすることなどから、1月以降、為替レート+1円/\$の変化に対し、22.3期の連結経常利益は約**-9億円**変動する可能性がある。
- 原料費
  - 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。
- 金利
  - 国内金利+1%の変動に対し、22.3期の連結営業外費用(支払利息)が年間+16億円変動する可能性がある。

## (参考)22.3期第3四半期の主なトピックス

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <a href="#">タイ衣料品製造工場における燃料転換について～石炭から天然ガスへの燃料転換を推進、タイでのCO2削減に貢献～</a></li> <li>■ <a href="#">カーボンニュートラル技術の研究開発拠点「Carbon Neutral Research Hub」の開設について</a></li> <li>■ <a href="#">自家消費型太陽光発電サービスにおける株式会社山善との業務提携について～共同ブランド「DayZpower」を立ち上げ、サービスを拡大～</a></li> <li>■ <a href="#">世界最大級のメタネーションによるCO2排出削減・有効利用実用化技術開発事業の開始について ～都市ガスのカーボンニュートラル化を実現する技術の実用化へ～</a></li> <li>■ <a href="#">大王製紙三島工場 石灰焼成キルンにおいて天然ガスと重油の混焼によるCO2排出削減を実現</a></li> <li>■ <a href="#">愛媛県四国中央市における天然ガス供給事業の実施について</a></li> <li>■ <a href="#">「Daigasグループ 統合報告書2021」発行と「Daigasグループ サステナビリティサイト」公開について</a></li> <li>■ <a href="#">ベトナムにおける屋根置き太陽光発電事業への参画について</a></li> <li>■ <a href="#">大阪ガスとSky Solar Japanによる太陽光発電所の共同開発・保有に関する合意書の締結について</a></li> <li>■ <a href="#">出光スノーレ石油開発株式会社の株式売却について</a></li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <a href="#">欧州でEVを活用した需給調整事業を行うスタートアップJEDLIX社への出資について</a></li> <li>■ <a href="#">大阪ガスの新電気料金オプションメニュー「WEB問診オプション」の受付開始について</a></li> <li>■ <a href="#">東洋紡岩国事業所において石炭火力発電所の燃料転換によりCO2排出量8.0万トン/年削減に貢献～天然ガスとRPFを燃料とする低炭素発電所の建設工事を開始～</a></li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <a href="#">放射冷却技術を用いた新素材SPACECOOLの販売に向けた共同検討について</a></li> <li>■ <a href="#">自家消費型太陽光発電サービスにおける株式会社ハマキャストとの業務提携について ～屋根防水20年保証付きD-Solarによりサービスを拡大～</a></li> <li>■ <a href="#">中長期気象予測に関する共同研究の開始について～極寒や猛暑を早期に予測し、エネルギーの安定供給に貢献～</a></li> <li>■ <a href="#">大阪ガスが独自の発酵法で製造した天然由来ケトン体の化粧品原料への初採用について</a></li> <li>■ <a href="#">グリーンパワーフェュエルと兵庫県宍粟市による早生樹の利活用に係る協定の締結～バイオマス燃料の地産地消化と国内林業の持続的成長を目指して～</a></li> <li>■ <a href="#">日本企業として初めてのインド都市ガス事業への参画について</a></li> <li>■ <a href="#">豪州におけるメタネーション事業に関する共同スタディの開始について</a></li> </ul>

※プレスリリース実施月で記載 ■ 国内エネルギー案件、■ 海外エネルギー案件、■ ライフ&ビジネスソリューション案件、■ その他